

RT39-2119 負圧式ブレーキブリーダー 取扱説明書

この度は、負圧式ブレーキブリーダーをお買い上げいただきありがとうございます。
本製品を安全にご使用いただくために必ずこの「取扱説明書」をよく読み、理解した上で
ご使用ください。また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。



警告

下記内容をお守りください。重大な事故や死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・ 本製品は、圧縮エアーを利用し、負圧を発生させてオイル（液体）を吸い込む工具です。主にブレーキ（クラッチ）フルードを交換するために作業しやすいよう設計されています。目的以外の使用を絶対にしないでください。
- ・ 圧縮エアーは範囲内で使用してください。*推奨エアー圧 0.6 MPa
- ・ ガソリン・アルコール・薬品には使用しないでください。
- ・ 粘度の高い油脂、液体には使用しないでください。
- ・ 吸い込んだオイル・液体が排気口より周囲に飛散する可能性があります。目や皮膚に付着すると失明や炎症を起こす可能性があります。使用時は保護メガネ・保護マスク・保護手袋・作業着を着用してください。
- ・ 本製品を改造しないでください。
- ・ 子供の手の届く場所に保管しないでください。



注意

下記内容をお守りください。負傷や物的損害の可能性があります。

- ・ ブレーキフルードが車両等に付着した場合は、直ちにふき取り清掃してください。
- ・ 各接続部は確実に取り付けてください。フルード漏れやエアー吸い込みの原因になり正常に作動しない場合があります。
- ・ 吸い込み作業は本器を水平にして行ってください。また、吸い込み作業中にゆすったりしないでください。排気口よりフルードが噴出する場合があります。
- ・ フルードをタンク一杯にしないでください。排気口よりフルードが噴出する場合があります。



使用上の注意

- ・ タンク内には、空気を吸い込む吸気口があります。フルードが一杯になった場合、吸気口からフルードが浸入しないよう安全弁が設けてありますが、本器をゆすったり傾けたりするとフルードが吸気口に浸入し、排気口から噴出します。水平かつ衝撃を与えないように作業を行ってください。噴出した場合は、廃油を捨ててからトリガーを握り、オイルが噴出しなくなるまで出し切るか、分解して清掃してください。
- ・ 安全弁がフルード等で汚れて動きが悪くなり、吸気口がつまり負圧が発生できずフルードが吸い込まなくなる場合があります。分解して清掃してください。
- ・ 一部の車両（端末等を使用してエアー抜きを行う車両）には使用できません。サービスマニュアルを確認し、特別な方法でブレーキフルード交換作業を行う車両に関しては本器を使用せず、サービスマニュアルにしたがって作業を行ってください。

■ 各部名称



使用エア圧	0.3～1.2MPa
推奨エア圧	0.6MPa
タンク容量	2.0L
ホース長	約 1m
長さ(最長部)	260 mm
高さ	250 mm

■ 使用方法

《 ブレーキフルード交換作業 》 ＊注）エンジンを停止した状態で行ってください。

1. 車両ブレーキリザーバータンクにブレーキフルードを供給する装置を接続してください。
2. エアーカプラーにエアホースを接続してください。
3. ブレーキカプラーを車両のブレーキブリーダーボルトに接続してください。
4. トリガーを握り、キャッチタンク内を負圧にします。
＊トリガーホルダーをトリガーに引っかけると手を放しても吸引し続けます。
5. 車両ブレーキブリーダーボルトを緩めて、ブレーキフルードを吸引してください。
6. 適量抜き終わったら、車両ブレーキブリーダーボルトを締めてからトリガーを離してください。
7. 全てのブレーキフルードの交換を終えたら、エアホースを切り離してください。
8. 車両のブレーキペダルを数回踏み、固くなったなら車両リザーバータンクのフルード量を調整してください。

《 廃油排出 》

1. エアをつないでいない状態で排油キャップを外し、ブレーキフルードを排出してください。

■ メンテナンス

- ・ 本体に汚れが付着した場合は洗剤で湿らせた布でふき取ってください。
- ・ 本体、ホースに損傷がある場合は直ちに使用を中断し、損傷部品の交換または修理依頼をしてください。
- ・ 内部清掃等で本体タンクを分解する場合は固く締まっているため、バイス等で固定して外してください。（左回りに緩めてください）



株式会社レックス
〒501-0231 岐阜県瑞穂市野白新田55-1

#1341117